令和７年度　第２回　三重県社会教育委員の会議　概要

１．開催日時　令和７年10月６日（月）　9時30分～11時30分

２．場　　　所　三重県庁講堂棟　１３２会議室

３．出　席　者　社会教育委員７名（奥村隆志委員、鈴木智恵子委員、杉谷哲也委員、畑和伸委員、
志治優美委員、園部友里恵委員、池山敦委員（座長））
事　　務　　局５名（松本課長、酒井班長、中須係長、早川主幹兼社会教育主事、
森主任）

４．傍　聴　者　０名　（公開で実施）

５．内　　　容

（１）審議事項

令和６・７年度三重県社会教育委員の会議　審議のまとめ（案）

（２）報告事項

・令和７年度社会教育関係者ネットワーク実践研究交流会
・令和７年度基礎研修会
・令和７年度の社会教育関係の取組内容
・令和８年度の社会教育関係の取組内容（予定）
・令和８年度の社会教育関係団体からの負担金要望

６．概　　　要

（１）審議事項

事務局から「令和６・７年度三重県社会教育委員の会議　審議のまとめ（案）について説明し、ご意見などいただきました。

ネットワークの活性化に関して

○２年間の会議で、ネットワークの形は変わってきたと思うが、さらに変化する仕組みが必要。社会教育主事のネットワークも必要である。集まって話しあうことが大切。【畑委員】
○以前のオンライン開催では、終了後は画面から消えてつながりができない。今は対面開催が可能なので、出会いの場をつくることが大切。情報詰めだけが研修ではない。【池山委員】
○研修会などは出会いを大切にするため、名札など付けるとお互いを認識することができる。【鈴木委員】
○ネットワークを構築したが、そのあとが大切である。どのように広げるか。【奥村委員】
○ネットワークは、社会の課題があって、その課題に対し人が集まりつながっていく。【志治委員】
○行政に期待することとして、社会教育主管課だけが関わるのではなく、学校教育との連携が大切である。大きな視点のもとで進められるよう、主管課だけではない広がりがいる。【園部委員】
○今の学校は、クラブ活動など教員だけでは事業ができなくなってきており、地域との連携・協力が必要となっている。【杉谷委員】

７．次回開催

日時：令和８年１月～２月頃
場所：未定